「いのち彩る里　飯南町」

いーなん

飯南町広報　平成26年11月20日 No.119

魅力の、その先へ。

飯南高校生が指し示す
未来へのミチシルベ

11月号
iinan public relations magazine

飯南高校報道部
（飯南高校ボプラ並木）

魅力の、その先へ。

飯南高校生が指し示す future 未来へのミチシルベ

皆さんは、飯南町の「魅力」について考えたことはありますか？
日々、あたりまえのように飯南町で生活している私たちにとって、
あらためて魅力について考える機会は少ないかもしれません。
今、この「魅力」というものを掘り下げ、学びの題材として
活用する取り組みが飯南高校で行われています。
実はこの取り組み、高校生以外も巻き込んで、
まちの将来を左右するほどのパワー生む
可能性を秘めています。はたして
どのような取り組みなのでしょうか。

はじまりは報道部

近年、目覚ましい活躍を続ける飯南高校報道部。「NHK杯全国高校放送コンテスト」では、平成22年度の優勝をはじめ、現在5年連続で全国入賞中です。また、今年の「全国高等学校総合文化祭」では、最も価値ある賞である優秀賞を受賞しました。

この報道部の存在が、「魅力」をキーワードとした取り組みの発信源となっています。まずは、彼らがどのような視点で作品を作っているのかをみてみましょう。

いくつでも出てくる飯南の魅力

飯南高校報道部は、現在10名の部員で活動しており、平日の放課後はもちろん、土日も取材へ出かけるなど精力的な活動を行っています。日々の活動内容としては、大会へ出品するための作品づくりやアナウンスの練習などが中心になります。

大会に出品する作品は、身近な地域を題材としたものが多く、テーマについては、皆でやりたい案を持ち寄り、それぞれがプレゼンを行うなどして選定していきます。そして、選定の過程でやりたいテーマが同じだった部員がチームを組んで、作品を形にしていきます。

AR 動画

『まちの魅力』映像

報道部がこれまで制作した、まちの魅力がいっぱい詰まった作品のダイジェスト映像を、AR動画でご覧いただけます。

先輩の代から何年も地域をテーマとした作品づくりをしてきて、取り上げるものがなくなるのではないかと思いますが、「飯南町は小さなまちだけれどもとても濃い。たくさんの魅力があってネタが尽きることはない」という声が聞かれました。

また、魅力だけでなく、マイナスのイメージに思われることも逆手にとって作品にすることもあり、「何もない」という作品では、放課後に寄り道する場所のない飯南高校生と、都市部の高校生の過ごし方を比較しています。遊ぶ場所はないけれども、素晴らしい自然や人間関係がある。「何もない」ことは悪いことばかりではなく、違う見方をすれば魅力ととらえることもできるということを伝える作品となっています。

人に伝わる作品をつくる

報道部が作品をつくる上で最も大切にしていることは、「人に伝わる作品をつくる」ということです。

自分たちがつくった作品が人に影響を与える、人の心を動かす。報道部の皆さんは、これまで実際にそういった現場に遭遇してきました。以前、上映会で涙を流しながら自分たちの作品を見てくれている人がいたそうです。このような体験が、「人に伝わる作品」をつくることの大切さを生んでいるのだと思います。

「特別良い賞が取れなくてもいいから人の心に残る作品がつくりたい」という報道部員の言葉は、嘘偽りのない本心だと感じました。このような気持ちで作品をつくり続けているからこそ、たくさんの魅力を発見し、結果的に素晴らしい賞を受賞できる作品が生み出されているのではないでしょうか。

カタリcafe

生命地域学

報道部が集めた魅力がさらなる魅力を生む

報道部が集め、作品にした飯南町の魅力。この魅力を逆に町内へ向けて発散し、地域について考えるきっかけとする試みが行われています。

平成24年からスタートした「カタリｃａｆｅ」は、報道部の作品を見ながら、そこに登場する魅力をキーワードとして、飯南高校生と大人たちが地域について語り合うイベントです。今年も10月23日・24日の2日間開催され、熱心な議論が行われました。

普段なかなか地域の大人の人と話をする機会のない高校生にとっては、仕事についての話など、将来を考える上で貴重な機会となっています。また、大人たちがどのような思いを持って飯南町で暮らし働いているのかを聞くことで、ふるさとに対する思いを醸成するきっかけにもなっています。逆に大人たちにとっては、高校生に自分の人生や地域のことを語ることで、普段は意識していない地域の魅力に気づく機会となっています。

報道部の作品は、直接的に魅力を伝えるだけでなく、飯南町で生きる人々が、魅力に気づき考える機会を持つためのツールにもなっています。

まちの「魅力」を探す授業

カタリｃａｆｅのように、高校生が自分の考えをしゃべる機会を作ることは、将来、社会へ出ていくための準備となるキャリア教育という側面から見ても、非常に有意義であるといえます。そのため飯南高校では、地域住民と高校生の対話の場を設けることで、情報収集力・発信力を有する人材を育てることを目的に、「生命地域学」というカリキュラムをスタートさせました。

具体的にはどのようなことをするのでしょうか？

生命地域学の一つ「発信力を鍛える」を例に見てみると、生徒は事前にテーマを決めて町内へ出かけ、地域住民にインタビューを行いながら情報を収集していきます。次に、集めた情報を持ち帰って編集し、最後にそれを発表します。この一連の流れによって、社会人として必要な情報収集能力、コミュニケーション能力、発信力などが養われます。同時に、飯南町を舞台にしていることにより、地域の情報・魅力を発見・収集し、それを発信する能力を持った人材を育成することにも繋がります。

この学習による効果は高校生だけにとどまらず、カタリｃａｆｅと同じようにインタビューを受けた町民も、地域の資源や自分の仕事・得意なことを高校生に伝えることによって、地域資源の価値や仕事への思いを再確認することができます。「生命地域学」は、飯南高校生を介して、町民もまちの魅力を学べる機会となっています。

山下　嚴嗣 君
飯南高校3年生

カタリcafe参加者インタビュー

今回、大人の人と話をしてみて、自分の中で描いていた夢が明確になりました。将来、飯南町へ戻ってきて地域のためになることをしてみたいと思っているのですが、大人の人が色々な形で地域にかかわっておられる話を聞いて、地域を発展させる方法も一つではないと気づきました。

将来戻ってきたときに、今度は大人側で参加してみたいです。逆の目線で見ることで、また違ったことに気づけるような気がしています。

景山　良一 さん
都加賀在住

カタリcafe参加者インタビュー

今の高校生が、どういう意識で学校に通っているのかを聞けるのは、大人にとっても良いことだと思います。自分が高校生の頃にこんなに深く将来のことを考えていただろうかと思います。こういう場があるのはうらやましいですね。自分の時代にあれば色々と影響を受けていたと思うし、変わるきっかけになったと思います。「将来地元に帰りたい、地元で働きたい」という飯南町への思いを実現できるまちにすることが、私たち大人の責任だと強く感じました。

まちの魅力を知ることで さらに輝くまちになる

カタリｃａｆｅや生命地域学を通して浮かび上がってくるまちの魅力。

では、まちの魅力を知ることで何が起こるのでしょうか。「発信力を鍛える」で飯南高校生を指導していただいている東海大学の河井孝仁教授にお話を伺いました。

河井 孝仁

【プロフィール】
東海大学文学部広報メディア学科教授。地域情報論、行政広報論などを専門とし、全国各地で地域の魅力化に携わっている。平成25年・26年に飯南高校で「発信力を鍛える」の授業を担当。

私は平成25年・26年と「発信力を鍛える」という授業を飯南高校で行いました。何を発信するのか。授業では、飯南の魅力を発信するためにどうしたらいいのかを考えました。飯南の魅力は一つではありません。高校生たちはまちに取材に入り、人、もの、こと、ところ、数々の魅力を探しだしてきます。今まで、魅力などとは思っていなかったこと、あたりまえの生活の中にあったもの。それらを「魅力」として捉える作業です。

発信力というと、どう「語るか」の力をつけるものと思われるでしょうか。もちろん、そうした面はあります。しかし、その前にどう「見つけるか」「創るか」の力が必要です。「発信力を鍛える」授業は飯南高校の生徒たちにとって、そうした力を得るきっかけになったと考えています。

これは飯南高校生だけの話ではありません。町民の皆さんが自分たちの日常の暮らしを「まちの魅力」という目で見直してみる。「こんなところに実はこんなに素敵なものが！」。そうした発見をいくつかできれば、毎日が魅力に包まれ、キラキラしてくるはずです。そうした喜びを自然に言う、言いたくなる。それが発信力です。

飯南町は世界一の町になれる。そういう思いで、町をともに創ることができれば素晴らしいと思っています。これからも飯南町に期待しています。

私たちみんなにできること
～日常の中で魅力を伝える～

飯南高校を舞台に行われているまちの魅力を発見・発信する取り組み。子どもの頃からまちの魅力を多く知ることは、ふるさとへの愛着を持ち、ふるさとで活躍しようという気概を持った人材を育む下地となります。また、将来ふるさとを離れたとしても、町の魅力を町外へと積極的に発信してくれる大人になってくれるかもしれません。このような人材が育つことは、さらなる人口減少が懸念される飯南町の将来にとって、非常に重要なことではないでしょうか。

では、このような取り組みを行う子どもたちを、私たち大人がサポートし、共にできることはないのでしょうか。

私たち大人は、このまちで暮らす中で培ってきた様々な経験を持っています。その経験の中には、自らは気づいていなくても、他の人から見れば魅力となるものも必ず含まれています。それは、仕事のことであったり地域活動のことであったり様々なものが考えられますが、大人の持つ未知の経験は、子どもたちにとって間違いなく糧となります。家庭や地域などで、自らの知る経験（魅力）を伝えることができれば、子どもたちの中に魅力が蓄積されていくことになります。そしてそれは、大人にとっても魅力の再確認となり、「生命地域学」で行っていることと同じ効果が得られ、大人と子ども双方にとって有益なものとなります。

子どもたちの目には、どうしても都会が魅力的に映ってしまいます。その結果、高度経済成長時代以降、人口が都市部へ流出し続けています。このことは飯南町に限ったことではなく、日本中の過疎で悩む自治体に言えることです。さらに、日本全体の人口減少が、過疎化に一層拍車をかける懸念もあります。もちろん、流出するばかりでなく、ふるさとで暮らしたいと地元に残ったり、Ｕターンする人もたくさん存在します。また、ふるさとへの思いがあっても、仕事などの関係で帰ることができないという人もいるでしょう。住んでいる場所の違いはあっても、まちの魅力の蓄積により、このようなふるさとへの思いを持つ人が増えれば、人口減少スピードの鈍化やまちの情報発信へと繋がるのではないでしょうか。

私たち町民一人一人が、まちの魅力を再確認し伝えるという草の根の取り組みが、飯南町の未来を照らす一筋の光となるかもしれません。

まちの魅力再発見

「飯南町のおもてなし精神」
飯南高校生の保護者さんの声

宮崎 祥宣 さん
下赤名在住

今、飯南高校も町外からの生徒が増えていますけど、生命地域学のような授業を通して飯南町の魅力を知ってもらうことで、帰った時に魅力を伝えてくれるようになるかもしれませんね。地元の子どもたちが将来町外へ出たときも同じことが言えると思います。

大人の行動も大切で、例えば、田舎ならではの「おもてなしの精神」を大人が一生懸命みせてやる。それだけで、飯南町はあたたかいまちだと思ってくれるようになると思いますよ。

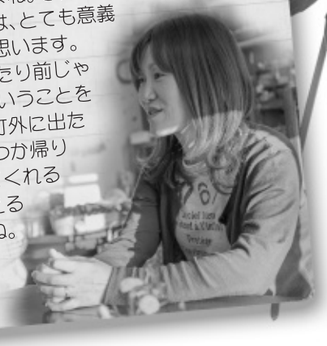
まちの魅力再発見

「飯南町では、あたりまえ」
生命地域学で飯南高校生がインタビュー

景山 佐知子 さん
カフェ handmade 雑貨ステッチ

飯南町の子どもたちは、例えば、水やお米がおいしかったり、近所の人が親切だったりすることが、当たり前のことだと思っています。でもそれって都会では当たり前のことではないんですよね。それに気づくことができる生命地域学は、とても意義ある授業だと思います。

家庭でも当たり前じゃないんだよということを伝えて、一度町外に出たとしても、いつか帰りたいと思ってくれる子どもが増えるといいですね。



花と伝統芸能が彩る コスモス祭

10/12（日）

飯南町の秋を彩るイベント「第24回コスモス祭」が、東三瓶フラワーパレーで開催されました。

今年は、「出雲の國伝統芸能交流大会」が同時開催され、ステージでは、飯南神楽同好会の神楽をはじめ、出雲地方に伝わる様々な伝統芸能が披露されました。また、やまめのつかみ取りやさつまいも掘りなど、飯南町ならではの体験型の催しは、行列ができるほどの盛況でした。

来場者の皆さんは、飯南町の秋を余すことなく満喫した様子でした。

ステージを彩る伝統芸能

活力ある水源林を守る 斐伊川流域荒廃林整備住民交流会

11/9（日）

協力して森林を整備します

斐伊川流域の住民が協力して上流の森林を整備し、渇水することなく安定的に下流に水を供給することを目的に、関係自治体により持ち回りで開催されている住民交流会が、今年は飯南町で開催されました。

小田地区で行われた植樹活動には、斐伊川流域の住民約１００名が参加し、スギやヒノキなど１００本を植栽していきました。植樹後には、中山間地域研究センターで木工体験を行うなど、住民同士の交流を深めました。

みんなで学ぼう交通安全 3世代交通安全教室

10/23（木）

相互理解で交通事故をなくそう

交通事故防止を目的に、子どもと親、高齢者の3世代が共に学ぶ交通安全教室が、赤名小学校で開催されました。

赤名保育所・小学校の子どもたちと、ＰＴＡ、婦人会、老人クラブ、公民館の皆さんが参加し、横断歩道の正しい渡り方や安全な自転車の運転方法などを学びました。

子どもと大人、それぞれの視点で交通安全を考えることで、道路を通行する上での注意点について相互理解が深まった様子でした。

楽しさの中にも防災意識を 頓原公民館まつり

10/19（日）

地域活動の発表の場として毎年行われている「第９回頓原公民館まつり」が、保健福祉センターで開催されました。

各種文化団体が日頃の活動の成果を披露したほか、今年は「防災」をテーマに、広島大雨災害義援フリーマーケットやハザードマップの展示・解説なども行われました。

楽しいだけでなく、安全に地域で暮らしていく方法を考えるよい機会にもなったようでした。

小学生の元気なダンス♪

子どもも大人もみんなが主役 来島文化祭

10/26（日）

保育園児も太鼓で盛り上げます

来島地区の文化の祭典「第34回来島地区文化祭」が、来島基幹集落センターで開催されました。

保育園児から高校生までの各年代の子どもたちが元気なステージ発表を行ったほか、大人の皆さんも日頃の活動の成果を披露し、ステージを盛り上げました。

このほか、芸術作品の展示や健康相談コーナー、おいしいものが並んだテント市など、盛りだくさんの文化祭となりました。

飯南町代表牛が活躍 島根県種畜共進会

10/25（土）

島根県種畜共進会が島根県中央家畜市場で開催され、飯南町からも秋季畜産共進会で上位入賞した牛が出品されました。結果は次のとおりです。

3区若雌牛

優秀賞
次　席　那須道弘さん（長谷）の愛牛「らん号」

優良賞　藤原康治さん（頓原）の愛牛「かつはな号」

優良賞　松原健吾さん（野萱）の愛牛「あまのあき号」

女性部和牛審査競技会

第2位
飯南キャンディーズZ
【那須波子さん（長谷）、那須佐智子さん（花栗）、三原愛子さん（長谷）】

第3位
飯南キャンディーズX
【岡田円さん（下赤名）、難波美奈さん（八神）、大槻明日美さん（下来島）】

那須道弘さんと愛牛「らん号」

現代の名工・中岡貢さん 町へ寄付をいただきました

飯南町出身で福岡県宗像市在住の中岡貢さんから、ふるさと飯南町へ貢献したいということで寄付金をいただきました。

中岡さんは、板金職人として神社仏閣の銅板葺きなどに携わってこられ、その優れた技術により「現代の名工」として厚生労働大臣表彰を受章。本年春の叙勲においては「旭日雙光章」を受章されるなど、業界の第一人者として活躍されています。

ふるさとへ寄付をいただきました

おいしいお米ができました 飯南町うまい米コンテスト

11/7（金）

エコロジー米の生産拡大などを目的に、「第7回飯南町うまい米コンテスト」が開催されました。受賞者は次のとおりです。（敬称略）

味を確認する審査員の皆さん

うまい米コンテスト金賞受賞者
（農）大安伸
（農）角井営農組合
（農）万場営農組合
安原征治（下赤名）
宇山智明（上区）
堀野俊郎（下赤名）

グランドマスター認定者
通算3回金賞を受賞された生産者は、グランドマスターとして認定し、今後のコンテストへはオープン参加となります。
（農）晴雲
（農）長谷営農組合
（農）琴麓

平成26年度飯南町功労者表彰式

11/3 祝

飯南町のために貢献した功績が特に顕著な個人・団体を表彰する「飯南町功労者表彰式」を、11月3日に赤名庁舎で行いました。今回表彰を受けられた方々は次のとおりです。

農林業功労表彰

安部　浩さん（野萱）

多年、赤来町・飯南町農業委員会委員を務め、この間、赤来町・飯南町農業委員会会長を務めるなど、委員会の運営、充実に尽力されました。

姉妹都市功労表彰

故　塚原　勉さん（獅子）

多年、姉妹都市協会の理事、副会長、会長として、伊丹市との友好を深めるとともに、姉妹都市協会の発展に尽力されました。

教育功労表彰

三嶋　玉亀さん（角井）

多年、頓原町・飯南町教育委員会委員を務め、この間、飯南町教育委員長を務めるなど、教育行政の発展に尽力されました。

民生功労表彰

信高　正美さん（佐見）

多年、頓原町・飯南町民生児童委員を務め、この間、飯南町民生児童委員協議会会長を務めるなど、民生の安定と社会福祉の向上に尽力されました。

源　彰弘さん（赤名）

多年、赤来町・飯南町主任児童委員として地域福祉の充実に務め、民生の安定と社会福祉の向上に尽力されました。

文化功労表彰

志々地区家の光グループ

多年、食を通じた地域づくりに貢献され、家の光全国大会で島根県代表として活動発表を行うなど、地域の女性活動の向上に尽力されました。

受賞者の皆さん

酒づくり交流館がリニューアル

酒づくり交流館の醸造施設の改修が完了し、10月28日に酒造りの始まりを告げる「火入れ式」が行われ、新しい施設での酒造りがスタートしました。

新しい醸造施設は、衛生面に配慮すると共に、最新の考え方に基づいた酒造りを行うための温度管理設備などが導入されています。しかし、職人が自分の手と目で確認しながら作業を行うことを重視するため、作業工程のほとんどは手作業で行うようになっています。

衛生管理が徹底された醸造施設

赤名酒造は、全国的にも珍しい地元産の酒米100％を使用した酒造りを行っていくということで、12月中旬には新酒ができあがる予定になっています。

指定管理者として施設を管理する赤名酒造合名会社代表社員の三島崇暁さんは、「飯南町の酒米は香り高く質が良い。地元の皆さんに飲んでいただくことはもちろんですが、全国にも販路を拡大し、飯南町のPRにも繋げたい」と話してくれました。

外観もリニューアルした赤名酒造

飯南木質バイオマスセンター竣工

10/30 木

関係者によるテープカット

町が進めている里山再生による地域活性化を目的とした「い～にゃん森の恵み」林活プロジェクトの中核を担う施設として、飯石森林組合により下来島地区に整備が進められていた「飯南木質バイオマスセンター」が完成し、10月30日に竣工式が行われました。

このバイオマスセンターは、山で放置されている未利用材（林地残材）を集荷し、おが粉と薪へ加工してストックすることができる施設で、加工後は、主に町内の酪農家の敷料や、薪をエネルギー源として活用する施設などで利用されます。

また、持ち込んだ未利用材は、里山商品券（地域通貨）に換券され、町内協賛店で利用できます。

この施設を活用することで、林地の健全化とそれに伴う鳥獣居住区確保による農地被害の減少、エネルギー資源や町内産材による良質堆肥としての利用、地域経済の活性化など、持続可能な循環型のまちづくりが可能となります。

完成した飯南木質バイオマスセンター

電源立地地域対策交付金事業で道路を整備しました

電源立地地域対策交付金を活用して、下来島地内で道路整備を行いました。電源立地地域対策交付金は、水力発電などの発電施設がある市町村等に対し、地域振興のために交付されるもので、飯南町では来島ダム（潮発電所）が該当します。

今年度も昨年度に引き続き、舗装の劣化が激しい町道恵比線の舗装工事を行いました。

今年度の交付金額は62440００円で、今後もこの交付金事業を活用し地域の施設整備等を行っていく予定です。

整備を行った町道恵比線

南病院 竹田和希医師が「第４回島根メディカルラリー」にて最優秀賞を受賞

10月19日に島根県消防学校で開催された「第４回島根メディカルラリー」へ、雲南地区チームの一員として飯南病院 竹田和希医師が出場しました。

「メディカルラリー」とは、仮想災害現場で模擬傷病者を４人１組のチームで診察して、一定時間内に連携してけがの程度や病状を判断し、どれだけ迅速で正確な治療を行えるか医療の知識と技術を競うものです。

雲南地区チームは10チーム中３位となり、医師部門では、竹田医師が最優秀賞を受賞しました。飯南病院では、安心・安全なまちづくりのため日々努力し、信頼される病院づくりを目指していきます。

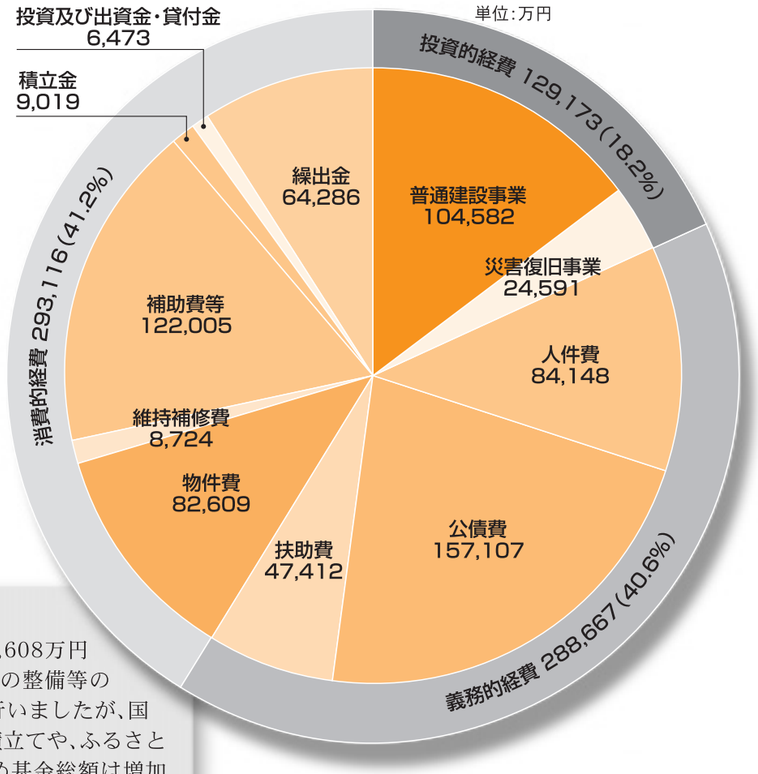
的確な治療を行う竹田医師（中央）

平成25年度 飯南町の決算状況

平成25年度の一般会計と特別会計の決算認定を9月議会に提出しました。議会では決算審査特別委員会（小野委員長他5名）を設置され、12月議会において報告される予定で審査が行われています。

歳出【性質別内訳】［普通会計］

歳出合計 71億956万円



歳出の状況

歳出は前年度と比較して1億4,870万円減少しました。

投資的経費の主な事業として、町道・通学路の整備、野萱定住住宅建設、除雪機械整備、飯南高校ｽｸｰﾙﾊﾞｽの更新、飯南町交流物産館の整備等を実施しました。平成24年度と比較すると、5,253万円増加しています。義務的経費においては、これまでの繰上償還の効果により公債費が6,235万円減少しています。また、消費的経費においては、昨年実施したまちづくり基金、減債基金への積立てを本年は実施しなかったことから、1億4,925万円減少しました。

基金の状況

前年度と比較し、基金総額は4,608万円増加しています。高齢者福祉施設の整備等の事業実施のため基金の取崩しを行いましたが、国の経済対策の交付金の基金への積立てや、ふるさと応援基金への積立てを行ったため基金総額は増加しています。また、前年度に続き、奨学基金に1,000万円を積み立てました。

単位：万円

財政調整基金		61,882
減債基金		91,611
特定目的基金	まちづくり基金	128,468
	福祉基金	9,089
	ふるさと水と土保全基金	1,656
	志津見ダム周辺地域整備基金	240
	志津見ダム周辺施設管理基金	3,130
	自然環境保全対策基金	14,721
	ふるさと応援基金	2,313
	子牛価格安定対策基金	931
	全共出品対策基金	180
	ふるさとの森管理基金	21,142
	地域の元気臨時交付金基金	5,360
	国民健康保険事業基金	16,352
定額運用基金	土地開発基金	11,609
	用品調達基金	500
	奨学基金	6,246

未収金の状況

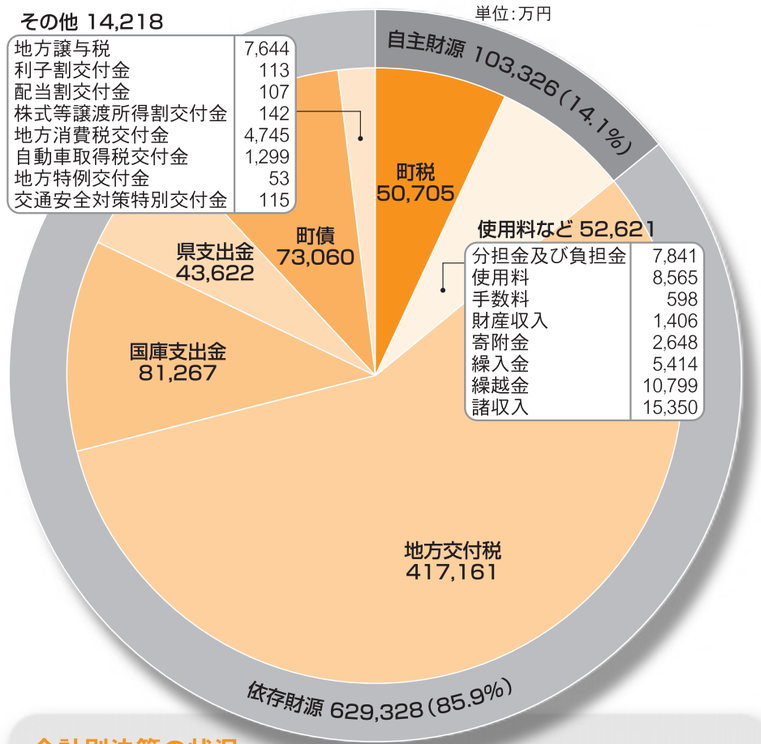
未収金合計 7,937万円

単位：万円

一般会計分	町税	1,071
	災害復旧分担金等	24
	保育料	65
	CATV使用料	16
	住宅使用料	1,139
	住宅共益費	14
	定住住宅使用料	111
	民生費返還金	9
	町有土地貸付収入	38
	住宅新築資金等貸付金	3,387
特別会計分	国民健康保険事業特別会計	806
	後期高齢者医療事業特別会計	62
	簡易水道事業特別会計	603
	下水道事業特別会計	287
	飯南病院事業会計（一部負担金）	305

歳入［普通会計］

歳入合計 73億2,654万円



歳入の状況

歳入は前年度と比較して3,972万円減少しています。自主財源は繰越金や、寄附金等の増加の影響で、前年度から1億731万円増加しています。また、町税収入は547万円の増加となっています。依存財源は、国の経済対策交付金により国庫支出金が増加していますが、県支出金の対象事業の減少、町債の発行額の減少に伴い、1億4,703万円減少しています。

歳入総額の5割以上を地方交付税が占めていますが、地方交付税は今後減少することが見込まれるため、歳入に見合った財政運営を進めていきます。

町債の状況

借入残高は全会計で146億円（一般会計：93億円、特別会計：53億円）となっています。前年度から9億円減少しているところですが、今後も計画的な繰上償還を行い財政の健全化に努めていきます。

会計別決算の状況

単位：万円

会　計　名	収入済額	支出済額	差引残額
一般会計	732,654	710,956	21,698
国民健康保険事業特別会計	65,429	62,714	2,715
後期高齢者医療事業特別会計	17,529	17,055	474
介護保険サービス事業特別会計	2,843	2,796	47
簡易水道事業特別会計	29,555	29,517	38
下水道事業特別会計	42,590	42,406	184
計	890,600	865,444	25,156

病院事業会計の決算の状況

病院事業会計（収益的収支）においては、入院収益の減少や、地方公営企業の新会計基準の適用の移行作業に伴う固定資産の修正等により、単年度の損失は20,588百万円となりました。

単位：万円

会　計　名	収入済額	支出済額	差引残額
病院事業会計（収益的収支）	88,900	109,488	△ 20,588
病院事業会計（資本的収支）	22,510	25,151	△ 2,641

※病院事業会計は消費税を除いています。※収益的収支は、病院の経営活動に係るもの。
資本的収支は、建設改良や建設改良にかかる企業債償還金等に係るもの。

町民1人当たりまたは1世帯当たりで見ると

人口　5,303人
世帯　2,111世帯
［平成26年4月1日現在］

使った費用【普通会計】
1人　134万円
1世帯　337万円
負担した税金
1人　10万円
1世帯　24万円
借入金残高【普通会計】
1人　174万円
1世帯　438万円
借入金残高【全会計】
1人　275万円
1世帯　691万円
基金残高
1人　71万円
1世帯　178万円

こんにちは
中山間地域研究センターです。

難波さんによる
唱歌指導

血圧を測定中

買い物などが困難な方への支援試行を行いました!

笑い声があふれる
ひと時になりました

飯南町志々地区は、県の中山間地域対策を定めた計画の中で、県内20地区指定されている『現場支援地区』のうちの１地区で、住民と行政が一体となって地域の活性化に取り組んでいます。

ミスターK氏のマジックショー

10月24日には、志々地区で地域づくりに取り組む「わっしょい!志々会」のみなさんを中心に、買い物や病院に行くことが難しい方々を対象に、送迎バスの運行試験を行いました。運行の合間にはサロンが開かれ、地域のミスターK氏によるマジックショーや谷地区の難波喬さんの唱歌指導、血圧測定なども行われ、笑い声があふれる心和むひと時を過ごされました。

今後は、今回の試行を検証し、本格実施をめざし運営方法を整理していきます。

●中山間地域研究センター
電話0854・76・2025
●ホームページ
http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/

こちらは、赤来農林産物のとれたて直売所「ぼたんの郷」です。

尾道松江線開通後は、交通量が減少しましたが、54号沿線の3直売所（ゆめランド布野、赤来ぼたんの郷、頓原ぶなの里）の連携イベントを実施し、少しずつ来所数も回復してきました。

高原の採れたて農林産物も好評を得ており、春の山菜、夏の果実、秋の味覚と、四季折々の旬の産物を取り揃えています。

また、会員相互においても売れ筋商品への積極的な取り組み、責任の持てる商品の出荷に努めています。さらには、スタッフとの連携により、売り切れた物を同日出荷して売上げ向上も図っています。

ぼたんの郷の会員は81名で、年会費は2000円ですので、入会についてもご相談ください。自信を持って出荷しお客様に喜んでもらえるよう頑張っていますので、ぜひぼたんの郷をご利用ください。

ぼたんの郷

こちら 産直市です!

飯南町の野菜などを販売する産直市から、出荷していただく農家の方などに向けた情報をお届けします。

●ぼたんの郷
電話（FAX）76・9126
営業時間　3月～12月：8:30～17:30
　　1月～ 2月：9:00～16:00
定休日　毎週水曜日
※ポイントカードによるサービスも受けられます。

●飯南病院　電話72・0221　●来島診療所　電話76・2309　●保健福祉センター　電話72・1770

飯南病院便り　がんを予防しましょう

がんは、我が国の死亡原因の第一位であり、年間30万人以上ががんで亡くなる時代です。その中でも胃がん、大腸がんは、死亡原因の上位を占めています。今回は、胃がんと大腸がんの話をします。

現在、胃がんに大きく関与しているのが「ピロリ菌」です。みなさんは「ピロリ菌」という言葉を聞いたことがありますか?「ピロリ菌」とは、正式名は「ヘリコバクター・ピロリ菌」と言います。「ピロリ菌」は、胃の壁を傷つけ、胃の守っている粘液を減らし、酸の攻撃を受けやすくしてしまうので、胃炎や消化性潰瘍を発症させる要因になります。胃がん患者のうち90％以上がピロリ陽性と言われています。胃カメラ検査にてピロリによる慢性胃炎を認めた場合、ピロリ菌の除菌治療が保険適応となっています。

胃がん健診は現在、ペプシノゲン検査（ピロリ胃炎を反映する検査）とバリウム検査（胃の形を外から影絵のように検査する）が行われていますが、胃がん健診でひっかかった中で、実際に胃がんである可能性は10％未満と言われています。胃がん健診にひっかかった場合にひどく落胆し、結果が怖くて放置しておくことが最もいけない事です。しっかりと胃カメラによる精密検査を受けましょう。

早期胃がんに対する内視鏡治療（胃カメラを使ってがんを切除する治療）も随分進歩しています。お腹を切ることなくがんの切除が出来る時代です。

続いて、大腸がんは、まず良性腫瘍である大腸ポリープが徐々に大きくなり、がん化し早期大腸がんになるのが主な経過です。その後、さらに大きくなって進行大腸がんになり、他臓器へ転移していきます。

大腸がん健診は、便潜血検査（便の中に血液が混ざっているかをみる検査）です。便が大腸を通過する際、ある程度大きなポリープがあれば擦れ、便に血液が混ざるのです。

大腸がん健診を定期的に受け（一年に一回）、陽性になれば、大腸カメラで精密検査。ポリープがあれば、前がん状態のうちに切除。そうすれば、手遅れの大腸がんで発見されるということがほぼ無くなると言われています。

胃がんと大腸がん、どちらも早期に発見できれば根治が出来る時代です。胃カメラ・大腸カメラ共に飯南病院で受けられる検査であり、胃カメラは年間約６００件、大腸カメラは約４００件実施されています。がんは、生活習慣とも大きく関係しています。生活習慣を見直すとともに、健康診断を受け、早期発見・早期治療をこころがけましょう。

保健福祉センター便り

血圧を上げない生活週間を

秋も深まってきました。
1日の寒暖の差が激しくなると、血圧の変動も大きくなります。

血圧をあげない生活習慣とは

・衣類、暖房器具で温度差に注意
・浴室、脱衣場の温度差に注意・入浴40度以下
・十分な休養、睡眠で血管や心臓を休める
・趣味などでリフレッシュ
・いきみ、我慢、イライラや排尿を我慢しない
・有酸素運動を続ける
・おいしい減塩の秘訣を習慣にする
・減量
・適量の飲酒と休肝日
・早めの禁煙にチャレンジ

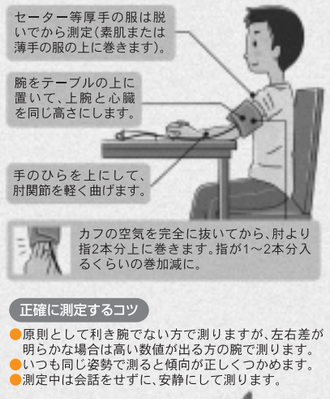
高血圧に関連して起こる病気

高血圧は、痛みなどの自覚症状がほとんどなく、ある日突然、次の病気を発症する怖い病気です。

・脳卒中
・心臓病（虚血性心疾患）
・腎臓病

大きな病気を起こさず、元気に寒い季節を乗り切りましょう！

まずは、家庭で血圧を測り、
自分の血圧の値を知りましょう。



正確に測定するコツ

●原則として利き腕でない方で測りますが、左右差が明らかな場合は高い数値が出る方の腕で測ります。
●いつも同じ姿勢で測ると傾向が正しくつかめます。
●測定中は会話をせずに、安静にして測ります。

児童扶養手当と公的年金の併給が可能となります

これまで、公的年金を受給する方は、児童扶養手当を受給できませんでしたが、平成26年12月以降は、年金額が児童扶養手当より低い方は、その差額分の児童扶養手当を受給できるようになります。児童扶養手当を受給するためには、役場への申請が必要です。

今回の改正により新たに手当を受け取れる例

・お子さんを養育している祖父母等が、低額の老齢年金を受給している
・父子家庭で、お子さんが低額の遺族厚生年金のみを受給している
・母子家庭で、離婚後に父が死亡し、お子さんが低額の遺族厚生年金のみを受給している

支給開始日

・手当は申請の翌月分から支給開始となります。ただし、これまで公的年金を受給していたことにより受給できなかった方のうち、平成26年12月1日に支給要件を満たしている方が、平成27年3月までに申請した場合は、平成26年12月分の手当から受給できます。
・平成26年12月から平成27年3月分の手当は、平成27年4月に支払われます。

■お問い合わせ
飯南町福祉事務所
電話72・1773

エイズ検査が受けられます

12月1日は世界エイズデーです。雲南保健所では、ＨＩＶ（エイズ）検査を受けることができます。

実施日

毎月第1・3火曜日9時から11時
【12月2日（火）は13時から19時も追加で受けられます】

・匿名、無料で受けられます。
・約1時間で結果が分かります。
・検査は要予約。検査の前日午後5時までにお願いします。

■お問い合わせ
雲南保健所　医事・難病支援課
電話０８５４・４２・９６３８

犯罪被害者支援を実施しています

警察では、犯罪被害者支援を行っています。犯罪被害者が被害から立ち直り、再び地域において平穏に過ごせるようになるためには、地域の人々の理解と配慮、協力が必要です。

被害者支援の内容

①身体犯被害者の診断書料等の公費負担
②性犯罪被害者の初診料等の公費負担
③一時避難場所の確保
④司法解剖遺体の修復費の公費負担
⑤司法解剖遺体の搬送等に係る費用の給付
⑥犯罪被害給付制度
⑦カウンセリング支援制度

詳しくは、最寄りの駐在所にお問い合わせください。

■お問い合わせ
雲南警察署
電話０８５４・４５・０１１０

放送大学４月生を募集します

放送大学では、平成27年度第1学期（4月入学）の学生を募集します。放送大学は、テレビ等の放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

出願期間

・第1回募集
12月1日から2月28日まで
・第2回募集
3月1日から3月20日まで

資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学島根学習センターまでご請求下さい。放送大学ホームページでも受け付けています。

大学説明会（出雲会場）

・日時
1月10日（土）13時から14時半
・会場
出雲中央図書館2階会議室

■お問い合わせ
放送大学島根学習センター
電話０８５２・２８・５５００

ふるさとUターンナビ
飯南町定住支援センター 電話76・2214
（役場産業振興課内）

求人情報

※求人受付から掲載まで時間があるため、既に採用が決定している場合もありますのでご了承ください。

介護職・正看護師 ①常勤 ②訪問パート ③通所パート

資格等	不問 介護有資格者は優遇 ②介護初任者研修終了（旧ヘルパー2級）以上
給　与	本会規程により優遇 各種手当 ①月給・賞与 ②③時間給
時　間	①変則勤務 ②③08:15～17:30の間で相談
休　日	週２日間 シフト表による
その他	各種保険完備 委細面談

社会福祉法人 飯南町社会福祉協議会
居宅・訪問・通所介護、ショートステイ、特別養護老人ホーム「あかぎの里」

所在地	島根県飯石郡飯南町野萱1826番地2		
連絡先	0854-76-2170	担当者	永田 留実子

①販売・サービス 正社員 ②事務 正社員・パート

資格等	普通自動車免許
給　与	①7,000円～10,000円/日 ②正社員6,000円～ パート700円/時
時　間	正社員8時～17時 パート9時～17時で相談 休憩60分
休　日	日曜日 年間90日
その他	各種保険完備 委細面談

有限会社 ホ リ エ
農林業機械・建設機械　販売　修理　リース

所在地	島根県飯石郡飯南町頓原1612番地6		
連絡先	0854-72-0102	担当者	堀江 由起夫

①土木作業員 ②オペレーター

資格等	普通自動車免許（AT限定不可）
給　与	日給①7,500円～10,000円 ②9,000円～12,000円 賞与年2回
時　間	08:00～16:00 休憩60分
休　日	隔週週休2日制（第2・4土曜日休み） 祝祭日
その他	各種保険完備 試用期間あり3ヶ月

有限会社 渡辺建設

所在地	島根県飯石郡飯南町野萱2202番地2		
連絡先	0854-76-2374	担当者	岩本 弘一

コンビニ店舗スタッフ 1～2名

職　務	レジ・商品出し・店内清掃等 コンビニ経験者優遇
給　与	時給 当社規程により優遇
時　間	1）13:00-19:00 2）00:00-07:00 その他相談に応じます
休　日	シフト表による
その他	各種保険完備 勤務時間等により適用

株式会社 コンビニエンス飯南

所在地	島根県飯石郡飯南町下赤名304番地1		
連絡先	0854-76-3000	担当者	難波 恭二

犬・猫の飼い主のみなさんへ

犬や猫は、ともに暮らし、時には心を通い合わせる存在になってきています。

その一方で、間違った飼い方により、トラブルの元になる例も発生しています。

犬や猫を飼うにもルールとマナーがあります。飼い主は最期まで飼う責任があります。不幸な命を産み出さないために、繁殖制限（不妊去勢手術など）をしましょう。

また、のら猫などには餌付けをしないでください。のら猫に餌付けをすると、その場所に住み着き繁殖し、ご近所に迷惑をかけることになります。責任を持って、飼えないのであれば、餌付けを行わないでください。

飼うには愛情はもちろん必要ですが、かわいいという気持ちだけでは生き物は飼えません。

自分が最後まで責任を持って飼えるのか、飼う前によく考えましょう。

■お問い合わせ
住民課町民生活担当
電話７６・２２１３

11（いい）月30（みらい）日は「年金の日」です

年金記録や将来の年金受給見込額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」をご利用いただくと、ご自身の年金記録を確認出来るほか、将来の年金受給見込額について、ご自身の年金記録を基に様々なパターンの試算をすることもできます。「ねんきんネット」については、日本年金機構のホームページでご確認いただけます。

■お問い合わせ
住民課町民生活担当（来島支所）
電話７６・２３９３

AR動画の視聴方法

ARマーク

飯南町HP QRコード

広報いーなんでは、AR（拡張現実）動画を導入しています。詳しい視聴方法は、飯南町ホームページでご紹介しています。（今月号は3ページと4ページに対応写真があります）

2014.12月 CATVいいなんネット番組表

※番組は朝6時から2時間毎に繰り返し放送
※デジアナ変換は2015年3月までに終了します。

月	火	水	木	金	土	日
1 ・大河ドラマ『龍馬伝』第21回「故郷の友よ」	2 ・出雲国風土記探訪 ・レッツ☆フィッシング	3 ・ちょこっときん菜園 ・いきいき健康講座「まめなかくらぶ」	4 ・出雲のほそ道 ・快傑!? 石見ふしぎ探偵社	5 特別番組 ・出雲国風土記 連続講座②「風土記と恋ものがたり」 ●6:00●9:00●12:00●15:00 ●18:00●21:00●24:00	6 ・いいなん情報箱 ・い〜なんヘルスUP!	7 ・いいなん情報箱 再 ・い〜なんヘルスUP! 再
8 特別番組 ・平成26年度 島根県中学校英語弁論大会 ●6:00●9:00●12:00●15:00 ●18:00●21:00●24:00	9 ・山間地域応援番組「雲南ウォーカー」 ・グラントワチャンネル	10 特別番組 ・公開講座「慢性腎臓病（CKD）対策」 ●6:00●9:00●12:00●15:00 ●18:00●21:00●24:00	11 特別番組 ・がん対策キャンペーン「知ろう、語ろう がんのこと」 ●6:00●9:00●12:00●15:00 ●18:00●21:00●24:00	12 議会 ・飯南町議会12月定例会「町長行政報告」 特別番組 ・島根の水田農業展開モデル事例番組	13 ・いいなん情報箱 議会 ・飯南町議会12月定例会「町長行政報告」再	14 ・いいなん情報箱 再 特別番組 ・島根の水田農業展開モデル事例番組 再
15 ・大河ドラマ『龍馬伝』第22回「龍という女」	16 ・バンドやらこい ・Looking for アクアス	17 ・お天気てるてる情報 ・月刊あまチャンネル	18 ・さんべ発! サヒメルnavi ・釣り天国!石見	19 特別番組 ・公開講座「十月に神々が出雲に集うのはなぜか?」 ●6:00●9:00●12:00●15:00 ●18:00●21:00●24:00	20 ・いいなん情報箱	21 ・いいなん情報箱 再
22 ・大河ドラマ『龍馬伝』第23回「池田屋に走れ」	23 天皇誕生日 議会 ・飯南町議会12月定例会「一般質問」 ※放送時間は文字放送でお知らせします	24 議会 ・飯南町議会12月定例会「一般質問」再 ※放送時間は文字放送でお知らせします	25 ・情報ネットしまね 12月号 ・ちょい旅きぶん	26 総集編 ・いいなん歴史館「最終回」 ●6:00●10:00●14:00●18:00 ●22:00●26:00	27 総集編 ・いいなん情報箱 パート① ※放送時間は文字放送でお知らせします	28 総集編 ・いいなん情報箱 パート② ※放送時間は文字放送でお知らせします
29 総集編 ・い〜なんヘルスUP	30 総集編 ・飯南町の秋祭り ●6:00●10:00●14:00●18:00 ●22:00●26:00	31 年末特別番組 ・いいなん いいでしょう!				

《特別番組》
【12/5】出雲国風土記連続講座「風土記と恋ものがたり」
【12/8】平成２６年度島根県中学校英語弁論大会
【12/10】公開講座「慢性腎臓病（CKD）対策」
【12/11】がん対策キャンペーン「知ろう、語ろう がんのこと」
【12/12.14（再）】島根の水田農業展開モデル事例番組
【12/19】公開講座「十月に神々が出雲に集うのはなぜか？」
【12/31】いいなん いいでしょう！〜飯南町歩き 第１弾〜
※歴史館・情報箱・ヘルスUP・各地区秋祭り「総集編」を放送！

〜年末年始の営業日についてのお知らせ〜
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。飯南放送センターは、１２月２７日〜１月４日までの期間お休みとさせて頂きます。何卒ご了承下さいますようお願い申し上げます。明け来る年も変わらぬお引き立てのほど、宜しくお願い申し上げます。
お問い合わせ：
ＣＡＴＶ飯南放送センター（電話 76-3033）

中央で切り取って掲示しても便利です。

ぬくもり情報局

俳句
琴峯華俳句会　会員作品抄

山里の森に集ひて子規忌かな　安部　豊枝
一人居の留守宅に置く栗御飯　政本　進美
一叢は刈り残しある野菊かな　石田シヅカ
宿題を怠かるる夢の夜寒かな　源　雨光
ふと目覚め夜寒に衿をかき合はす　垣内　良野
平穏な山野に野分容赦なし　森　征子
片付かぬ瓦礫の山を月照らす　佐々木康子
生けし花一片紅く秋深む　八嶋　敏江
草の花色なき道に映へにけり　庄司　陽輝
舞ひ上る風に裾を乱しけり　垣内　峯雅

短歌
赤名短歌会　十月詠草

こんなにも透きとほりたる月光の注ぐ奥出雲清しくあらむ　岩佐　恒子
稲を掛ける姉様かぶりの白き頬を照らして円きつきの昇れり　清原　豊明
葦の穂のさやぐ真昼を鷺一羽記憶をたどるごとく歩めり　澤田久美子
はらはらと庭木の紅葉風に舞い空き家と見紛うほどに散りしく　本間　麗子
菊の花咲かむあしたに朝顔の名残の花が絡みつきおり　三島　久恵
うちらはね「ねぎ一本から買うんじゃけー」農家羨む三次の朋友　澤田　勝登
虹の橋峰と峰とをひとまたぎシャッターチャンス夫はのがさず　吉川　暎子
石蕗の花に明るむ檜葉の下用はあらねど足を運びぬ　石田フクエ
険しかり生きこし道をふりむかず老いたる顔を鏡に見つむ　源　光子
稲刈りの鎌の手止まる孕みいるイモリよちよち逃げ終わるまで　門所　詠子
赤黒く欠けつつ沈む月食の鈍く明りて夜空をわたる　島田　勝信
ふわふわと秋明菊を揺らす風母の部屋にもやさしく吹けよ　星野　敦子
久びさに流しに立ては蛇口より熱き湯が出て想ふ今昔　中村三四二

すこやかに
10月届出分

新生児	届出人	地区
伊藤　耕平ちゃん	慶	町区

やすらかに
10月届出分

お名前		親族	地区
舟木　シヅコ様	(83)	章	敷波
小野　貞夫様	(83)	祝	下赤名
朝日　ミヤコ様	(91)	英夫	上区
金子　アヨコ様	(93)	正生	小田
原　弘利様	(86)	武司	佐見
安部　榮登様	(91)	悟	獅子
田邊　智様	(47)	良夫	上赤名
信藤　サツヱ様	(92)	一郎	町区
大嶋　士様	(82)	享介	赤名
永井　止女様	(89)	康隆	谷

今月の表紙
特集にも登場してもらった飯南高校報道部。色づいたポプラ並木で、高校生の向こう側に広がる輝く未来を表現しました。報道部が「人の心を動かす」作品づくりをしている姿を見て、広報紙もそうでなければいけないと強く感じました。

今月の人権標語
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

友だちは　いつもなかよし　たからもの

赤名小4年　石川　結彩　さん
家族名　石川　千春　さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

まちのスケジュール

2014年　平成26年　12月分

教育　健康・保健　文化・体育　その他

日	月	火	水	木	金	土
11/30	1	2	3 健康 子育て支援センター「ほっと。Café」（来島保健センター） 教育 中学校修学旅行〈～6日〉	4 教育 人権・同和教育授業公開（志々小）	5	6 教育 お楽しみ会（来島・桜ヶ台保育所） 文化 わらべの学校（志々公）
7	8	9	10 健康 子育て支援センター「ほっと。Café」（来島保健センター） 文化 図書館巡回図書（赤来地区）	11	12	13 教育 お楽しみ会（赤名・さつき保育所）
14 教育 保小中高一貫教育講演会（みせん）	15 教育 頓原小個人懇談〈～17日〉 教育 赤名小個人懇談〈～16日〉	16	17 健康 子育て支援センター「ほっと。Café」（来島保健センター）	18	19 教育 志々小個人懇談 教育 クリスマス会（桜ヶ台保育所）	20
21 教育 三校クリスマスコンサート（みせん）	22	23 天皇誕生日	24 教育 クリスマス会（赤名・来島・さつき保育所））	25 教育 終業式（各小中学校）	26 その他 官公庁仕事納め	27 教育 保育終了（全保育所）
28	29	30	31	1/1	1/2	1/3

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原 志々	8日（月） 9日（火）
赤名	2日（火） 4日（木） 20日（土） 22日（月）
来島	12日（金）15日（月）

資源物

収集地域	収集日
頓原	17日（水）
赤来	24日（水）

金属類・粗大物　ガラス類

収集地区	金属類・粗大物 収集日	ガラス類 収集日
頓原連担地	22日（月）	8日（月）
八神連担地	25日（木）	10日（水）
頓原・八神連担地以外	24日（水）	9日（火）
赤名連担地	15日（月）	1日（月）
来島連担地	17日（水）	3日（水）
赤名・来島連担地以外	16日（火）	2日（火）

［頓原地域］電話72・1401［赤来地域］電話76・2441
※決められた日時をお守りください。

［いいしクリーンセンター］電話72・9217

●町の人口5,266人（前月比－12人）●男性2,455人●女性2,811人●世帯数2,118戸　H26.11.1 現在

広報いーなん11月号

小さな田舎（まち）からの「生命地域」宣言
いのち彩る里 飯南町

発行／飯南町　編集／総務課　〒690-3513 島根県飯石郡飯南町下赤名890　電話（0854）76-2211（代）　FAX（0854）76-2221　http://www.iinan.jp/